



# 学校だより

川越市立山田中学校

令和4年1月12日 発行

## 自立 自律

校長 大澤由美子

明けましておめでとうございます。新しい年になりました。新たな気持ちで3学期を迎え、本年度を締めくくりたいと思います。始業式で次のような話をしました。

今日は「自立」と「自律」について話します。お正月に開催された箱根駅伝で優勝した青山学院大学の原監督の言葉です。

内容を簡単に言うと、「学生たちは自ら立つ『自立』、自分を律する『自律』を持っている。自分に足りないのは何か、課題、目標は何かというのを一人一人が考えて行動している。それが青山学院大学の強さ」ということです。

「自立」とは、他人やものに頼ることなく、独り立ちしていること。他の助けや支配なしに自分一人の力だけで物事を行うこと。

「自律」とは、自分の行動を自分の立てた規律に従って正しく規制すること。自分で考えて自身をコントロールできること。自分の意思をしっかりと持って、自ら定めたルールに従って行動を選択できる状態。

皆さんには、周りの人に事細かに指示されるのではなく、自ら気づき、考え、自分をコントロールして行動する、「自立」「自律」した人物になってほしいと思います。

「中学生として日々感じ、自ら学ぶ。いろいろな体験を重ね、自分で考え、行動する力をつける」そのような3学期にしてください。

自律した行動を取るためには、自分だけでなく周りの人のことも考えられる力が必要です。周りのことを考える上で土台となるのは自分を信じることです。自分の考えを持ち、芯の通った行動を取らなければ、相手に依存した状態になってしまいます。だから、自分を信じて行動に責任を持つことが必要です。

「自立・自律」は、他人の意見を無視して、何でも自分だけで決めるということではありません。できないことがあれば、敬意を持って人を頼りましょう。わからないことがあれば、謙虚に人の話に耳を傾けましょう。その上で、正しいと思われることを自分で選択して行動できるのが、「自立・自律」です。

最後にもう一つ、原監督の言葉を紹介します。

「伸びる選手は妄想を抱いていない。妄想と目標は違う。目標は手の届く半歩先に置き、それを目指して練習する、その繰り返し。」

それでは、良い卒業式、良い修了式を迎えられるように、「妄想」ではなく「目標」を持って、日々学び、一日一日を積み重ねていきましょう。

新型コロナウイルスの心配はまだ続いています。感染拡大防止に努めながら、今できることを大切にして、本年も教育活動を進めて参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。